【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【公開番号】特開2003-308328(P2003-308328A)
【公開日】平成15年10月31日(2003.10.31)
【出願番号】特願2002-113825(P2002-113825)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　17/30
　Ｇ０６Ｆ　12/00
　Ｇ０６Ｆ　13/00
　Ｇ０６Ｆ　15/00
　Ｈ０４Ｎ　 7/173
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　17/30　　２２０Ｃ
　Ｇ０６Ｆ　17/30　　１１０Ｆ
　Ｇ０６Ｆ　12/00　　５２０Ｅ
　Ｇ０６Ｆ　12/00　　５４６Ｍ
　Ｇ０６Ｆ　13/00　　５４０Ｆ
　Ｇ０６Ｆ　15/00　　３１０Ａ
　Ｈ０４Ｎ　 7/173　 ６１０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成16年7月12日(2004.7.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　コンテンツおよび該コンテンツに関連してコンテンツの内容を表わす情報であるメタデータを再生しながら連携動作を行うことによりコンテンツに関連する情報の提供およびサービスの提供を可能とするコンテンツ連携再生装置であって、
　前記コンテンツおよび該コンテンツに付加されたメタデータを取得し、該コンテンツおよびメタデータを再生するコンテンツ再生手段と、
　コンテンツの再生タイミング、コンテンツデータおよびメタデータを含み、コンテンツに対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報を生成する連携インタフェース情報生成手段と
　を有することを特徴とするコンテンツ連携再生装置。
【請求項２】
　前記連携インタフェース情報に対応し、コンテンツに関係する動作を定義した連携データを蓄積する連携データ蓄積手段と、
　この連携データ蓄積装置に蓄積されている連携データを取得し、前記連携インタフェース情報に基づき前記連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて前記コンテンツに対する連携動作の実行を制御する連携動作制御手段と
　を有することを特徴とする請求項１記載のコンテンツ連携再生装置。
【請求項３】
　前記連携データおよび必要により外部入力情報に基づき前記コンテンツおよびメタデー

タの再生動作を制御する連携フィードバック情報を生成する連携フィードバック情報生成手段と、
この生成された連携フィードバック情報に基づき前記コンテンツ再生手段におけるコンテンツの再生動作を制御するフィードバック制御手段と
を有することを特徴とする請求項２記載のコンテンツ連携再生装置。
【請求項４】
前記連携データ蓄積手段は、前記連携データとして広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、コンテンツに関連する情報コンテンツ、コンテンツに関連するクイズ情報、およびコンテンツに関連するゲーム情報のうちの少なくとも１つの情報または該少なくとも１つの情報を取得するための取得用情報を蓄積する手段を有し、
前記連携動作制御手段は、連携データ蓄積手段に蓄積されている前記少なくとも１つの情報、または連携データ蓄積手段に蓄積されている前記取得用情報に基づいて取得した前記少なくとも１つの情報に従って、該少なくとも１つの情報に関連する連携動作の実行を制御し、該連携動作に対する対価またはその一部を前記少なくとも１つの情報および連携動作またはその動作結果に基づき該少なくとも１つの情報の提供者に請求する手段
を有することを特徴とする請求項２記載のコンテンツ連携再生装置。
【請求項５】
前記連携データ蓄積手段は、ネットワークを介して前記連携動作制御手段に接続され、
前記連携動作制御手段は、ネットワークを介して前記連携データ蓄積手段にアクセスして、該連携データ蓄積手段に蓄積されている連携データを取得する手段　を有することを特徴とする請求項２記載のコンテンツ連携再生装置。
【請求項６】
前記コンテンツ再生手段は、ネットワークを介して前記コンテンツおよび該コンテンツに付加されたメタデータを取得する手段を有することを特徴とする請求項１記載のコンテンツ連携再生装置。
【請求項７】
前記コンテンツ再生手段、前記連携インタフェース情報生成手段および前記フィードバック制御手段は、一体的に構成されてコンテンツ再生装置を構成し、前記連携動作制御手段および前記連携フィードバック情報生成手段は、一体的に構成されて連携処理装置を構成し、コンテンツ再生装置と連携処理装置とはネットワークを介して接続されることを特徴とする請求項３記載のコンテンツ連携再生装置。
【請求項８】
コンテンツおよび該コンテンツに関連してコンテンツの内容を表わす情報であるメタデータを再生しながら連携動作を行うことによりコンテンツに関する情報の提供およびサービスの提供を可能とするコンテンツ連携再生装置であって、
コンテンツの再生タイミング、コンテンツデータおよびメタデータを含み、コンテンツに対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報に対応し、コンテンツに関係する動作を定義した連携データを蓄積する連携データ蓄積手段と、
この連携データ蓄積手段に蓄積されている連携データを取得し、前記連携インタフェース情報に基づき前記連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて、前記コンテンツに対する連携動作の実行を制御する連携動作制御手段と
を有することを特徴とするコンテンツ連携再生装置。
【請求項９】
コンテンツおよび該コンテンツに関連してコンテンツの内容を表わす情報であるメタデータを再生しながら連携動作を行うことによりコンテンツに関連する情報の提供およびサービスの提供を可能とするコンテンツ連携再生装置が行うコンテンツ連携再生方法であって、
前記コンテンツおよび該コンテンツに付加されたメタデータを取得し、該コンテンツおよびメタデータを再生する第１のステップと、

コンテンツの再生タイミング、コンテンツデータおよびメタデータを含み、コンテンツに対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報を生成する第２のステップと
を有することを特徴とするコンテンツ連携再生方法。
【請求項１０】
前記連携インタフェース情報に対応し、コンテンツに関係する動作を定義した連携データを予め作成して連携データ蓄積手段に蓄積しておく第３のステップと、
この連携データ蓄積装置に蓄積されている連携データを取得し、前記連携インタフェース情報に基づき前記連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて前記コンテンツに対する連携動作の実行を制御する第４のステップと
を有することを特徴とする請求項９記載のコンテンツ連携再生方法。
【請求項１１】
前記連携データおよび必要により外部入力情報に基づき前記コンテンツおよびメタデータの再生動作を制御する連携フィードバック情報を生成する第５のステップと、
この生成された連携フィードバック情報に基づき前記コンテンツ再生手段におけるコンテンツの再生動作を制御する第６のステップと
を有することを特徴とする請求項１０記載のコンテンツ連携再生方法。
【請求項１２】
前記連携データとして広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、コンテンツに関連する情報コンテンツ、コンテンツに関連するクイズ情報、およびコンテンツに関連するゲーム情報のうちの少なくとも１つの情報または該少なくとも１つの情報を取得するための取得用情報を前記連携データ蓄積手段に蓄積しておく第７のステップを有し、
前記第４のステップは、前記連携データ蓄積手段に蓄積されている前記少なくとも１つの情報、または連携データ蓄積手段に蓄積されている前記取得用情報に基づいて取得した前記少なくとも１つの情報に従って、該少なくとも１つの情報に関連する連携動作の実行を制御し、該連携動作に対する対価またはその一部を前記少なくとも１つの情報および連携動作またはその動作結果に基づき該少なくとも１つの情報の提供者に請求する第８のステップ、
を有することを特徴とする請求項１０記載のコンテンツ連携再生方法。
【請求項１３】
コンテンツおよび該コンテンツに関連してコンテンツの内容を表わす情報であるメタデータを再生しながら連携動作を行うことによりコンテンツに関する情報の提供およびサービスの提供を可能とするコンテンツ連携再生装置が行うコンテンツ連携再生方法であって、
コンテンツの再生タイミング、コンテンツデータおよびメタデータを含み、コンテンツに対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報に対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報に対応し、コンテンツに関係する動作を定義した連携データを予め作成して連携データ蓄積手段に蓄積しておく第１のステップと、
この連携データ蓄積手段に蓄積されている連携データを取得し、前記連携インタフェース情報に基づき前記連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて、前記コンテンツに対する連携動作の実行を制御する第２のステップと
を有することを特徴とするコンテンツ連携再生方法。
【請求項１４】
請求項９または１３記載のコンテンツ連携再生方法をコンテンツ連携再生装置に実行させることを特徴とするプログラム。
【請求項１５】
請求項１４記載のプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読取り可能な記

録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
また、請求項２記載の本発明は、請求項１記載の発明において、前記連携インタフェース情報に対応し、コンテンツに関係する動作を定義した連携データを蓄積する連携データ蓄積手段と、この連携データ蓄積装置に蓄積されている連携データを取得し、前記連携インタフェース情報に基づき前記連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて前記コンテンツに対する連携動作の実行を制御する連携動作制御手段とを有することを要旨とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
請求項４記載の本発明は、請求項２記載の発明において、前記連携データ蓄積手段は、前記連携データとして広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、コンテンツに関連する情報コンテンツ、コンテンツに関連するクイズ情報、およびコンテンツに関連するゲーム情報のうちの少なくとも１つの情報または該少なくとも１つの情報を取得するための取得用情報を蓄積する手段を有し、前記連携動作制御手段は、連携データ蓄積手段に蓄積されている前記少なくとも１つの情報、または連携データ蓄積手段に蓄積されている前記取得用情報に基づいて取得した前記少なくとも１つの情報に従って、該少なくとも１つの情報に関連する連携動作の実行を制御し、該連携動作に対する対価またはその一部を前記少なくとも１つの情報および連携動作またはその動作結果に基づき該少なくとも１つの情報の提供者に請求する手段を有することを要旨とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
請求項４記載の本発明にあっては、連携データとして広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、コンテンツに関連する情報コンテンツ、コンテンツに関連するクイズ情報、およびコンテンツに関連するゲーム情報のうちの少なくとも１つの情報を取得し、この少なくとも１つの情報に関連する連携動作の実行を制御し、該連携動作に対する対価またはその一部を該少なくとも１つの情報および連携動作またはその動作結果に基づき該少なくとも１つの情報の提供者に請求するため、広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、情報コンテンツ、クイズ情報、ゲーム情報などを提供された時には場合により情報の提供者に対価が請求され、ユーザは無料で種々の情報を取得することができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】

また、請求項５記載の本発明は、請求項２記載の発明において、前記連携データ蓄積手段が、ネットワークを介して前記連携動作制御手段に接続され、前記連携動作制御手段が、ネットワークを介して前記連携データ蓄積手段にアクセスして、該連携データ蓄積手段に蓄積されている連携データを取得する手段を有することを要旨とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】

また、請求項８記載の本発明は、コンテンツおよび該コンテンツに関連してコンテンツの内容を表わす情報であるメタデータを再生しながら連携動作を行うことによりコンテンツに関する情報の提供およびサービスの提供を可能とするコンテンツ連携再生装置であって、コンテンツの再生タイミング、コンテンツデータおよびメタデータを含み、コンテンツに対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報に対応し、コンテンツに関係する動作を定義した連携データを蓄積する連携データ蓄積手段と、この連携データ蓄積手段に蓄積されている連携データを取得し、前記連携インタフェース情報に基づき前記連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて、前記コンテンツに対する連携動作の実行を制御する連携動作制御手段とを有することを要旨とする。

請求項８記載の本発明にあっては、連携データ蓄積手段に蓄積されている連携データを取得し、連携インタフェース情報に基づき連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて、コンテンツに対する連携動作の実行を制御するため、コンテンツおよびメタデータを再生しながらコンテンツに関連する種々の情報、サービスの提供、ゲームなどの連携動作をきめ細かく行うことができるとともに、また連携インタフェース情報を公開することによりコンテンツ提供者またはコンテンツ提供者から許可を受けたプロバイダのみならず、第三者が提供する連携データを利用することにより付加的な情報、サービス、ゲームなどの提供を含む独自の連携動作サービスを提供でき、この結果元のコンテンツそのものの視聴数を増大し、ユーザ自身もコンテンツに関連した多様なサービスを享受でき、コンテンツ流通関連ビジネスの活性化を促進でき、大きな経済的効果をもたらすことができる。

また、請求項９の本発明は、コンテンツおよび該コンテンツに関連してコンテンツの内容を表わす情報であるメタデータを再生しながら連携動作を行うことによりコンテンツに関連する情報の提供およびサービスの提供を可能とするコンテンツ連携再生装置が行うコンテンツ連携再生方法であって、前記コンテンツおよび該コンテンツに付加されたメタデータを取得し、該コンテンツおよびメタデータを再生する第１のステップと、コンテンツの再生タイミング、コンテンツデータおよびメタデータを含み、コンテンツに対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報を生成する第２のステップとを有することを要旨とする。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】

請求項９記載の本発明にあっては、コンテンツおよびメタデータを取得し、該コンテンツおよびメタデータを再生するとともに、このコンテンツに対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報を生成するため、該連携インタフェース情報を利用することによりコンテンツおよびメタデータを再生しながら連携動作を行うことを可能とし、コンテンツに関連する種々の情報の提供およびゲームを含む種々のサービス

の提供を可能とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
更に、請求項１０記載の本発明は、請求項９記載の発明において、前記連携インタフェース情報に対応し、コンテンツに関係する動作を定義した連携データを予め作成して連携データ蓄積手段に蓄積しておく第３のステップと、この連携データ蓄積装置に蓄積されている連携データを取得し、前記連携インタフェース情報に基づき前記連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて前記コンテンツに対する連携動作の実行を制御する第４のステップとを有することを要旨とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
請求項１０記載の本発明にあっては、連携データ蓄積装置に蓄積されている連携データを取得し、連携インタフェース情報に基づき連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いてコンテンツに対する連携動作の実行を制御するため、コンテンツおよびメタデータを再生しながらコンテンツに関連する種々の情報、サービスの提供、ゲームなどの連携動作をきめ細かく行うことができるとともに、また連携インタフェース情報を公開することによりコンテンツ提供者またはコンテンツ提供者から許可を受けたプロバイダのみならず、第三者が提供する連携データを利用することにより付加的な情報、サービス、ゲームなどの提供を含む独自の連携動作サービスを提供でき、この結果元のコンテンツそのものの視聴数を増大し、ユーザ自身もコンテンツに関連した多様なサービスを享受でき、コンテンツ流通関連ビジネスの活性化を促進でき、大きな経済的効果をもたらすことができる。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
請求項１１記載の本発明は、請求項１０記載の発明において、前記連携データおよび必要により外部入力情報に基づき前記コンテンツおよびメタデータの再生動作を制御する連携フィードバック情報を生成する第５のステップと、この生成された連携フィードバック情報に基づき前記コンテンツ再生手段におけるコンテンツの再生動作を制御する第６のステップとを有することを要旨とする。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
請求項１１記載の本発明にあっては、コンテンツおよびメタデータの再生動作を制御する連携フィードバック情報を生成し、この連携フィードバック情報に基づきコンテンツの再生動作を制御するため、コンテンツおよびメタデータを再生しながらコンテンツに関連

する種々の情報、サービスの提供、ゲームなどの連携動作をきめ細かく行うことができるとともに、また連携インタフェース情報を公開することによりコンテンツ提供者またはコンテンツ提供者から許可を受けたプロバイダのみならず、第三者が提供する連携データを利用することにより付加的な情報、サービス、ゲームなどの提供を含む独自の連携動作サービスを提供でき、この結果元のコンテンツそのものの視聴数を増大し、ユーザ自身もコンテンツに関連した多様なサービスを享受でき、コンテンツ流通関連ビジネスの活性化を促進でき、大きな経済的効果をもたらすことができる。

【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】

また、請求項１２記載の本発明は、請求項１０記載の発明において、前記連携データとして広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、コンテンツに関連する情報コンテンツ、コンテンツに関連するクイズ情報、およびコンテンツに関連するゲーム情報のうちの少なくとも１つの情報または該少なくとも１つの情報を取得するための取得用情報を前記連携データ蓄積手段に蓄積しておく第７のステップと、前記第４のステップは、前記連携データ蓄積手段に蓄積されている前記少なくとも１つの情報、または連携データ蓄積手段に蓄積されている前記取得用情報に基づいて取得した前記少なくとも１つの情報に従って、該少なくとも１つの情報に関連する連携動作の実行を制御し、該連携動作に対する対価またはその一部を前記少なくとも１つの情報および連携動作またはその動作結果に基づき該少なくとも１つの情報の提供者に請求する第８のステップと、を有す

【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】

請求項１２記載の本発明にあっては、連携データとして広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、コンテンツに関連する情報コンテンツ、コンテンツに関連するクイズ情報、およびコンテンツに関連するゲーム情報のうちの少なくとも１つの情報を取得し、この少なくとも１つの情報に関連する連携動作の実行を制御し、該連携動作に対する対価またはその一部を該少なくとも１つの情報および連携動作またはその動作結果に基づき該少なくとも１つの情報の提供者に請求するため、広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、情報コンテンツ、クイズ情報、ゲーム情報などを提供された時には場合により情報の提供者に対価の支払いが請求され、ユーザは無料で種々の情報を取得することができる。

また、請求項１３記載の本発明は、コンテンツおよび該コンテンツに関連してコンテンツの内容を表わす情報であるメタデータを再生しながら連携動作を行うことによりコンテンツに関する情報の提供およびサービスの提供を可能とするコンテンツ連携再生装置が行うコンテンツ連携再生方法であって、コンテンツの再生タイミング、コンテンツデータおよびメタデータを含み、コンテンツに対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報に対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報に対応し、コンテンツに関係する動作を定義した連携データを予め作成して連携データ蓄積手段に蓄積しておく第１のステップと、この連携データ蓄積手段に蓄積されている連携データを取得し、前記連携インタフェース情報に基づき前記連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて、前記コンテンツに対する連携動作の実行を制御する第２のステップとを有することを要旨とする。

請求項１３記載の本発明にあっては、連携データ蓄積手段に蓄積されている連携データ

を取得し、連携インタフェース情報に基づき連携データの定義に従うとともに、必要により外部から入力される外部入力情報を用いて、コンテンツに対する連携動作の実行を制御するため、コンテンツおよびメタデータを再生しながらコンテンツに関連する種々の情報、サービスの提供、ゲームなどの連携動作をきめ細かく行うことができるとともに、また連携インタフェース情報を公開することによりコンテンツ提供者またはコンテンツ提供者から許可を受けたプロバイダのみならず、第三者が提供する連携データを利用することにより付加的な情報、サービス、ゲームなどの提供を含む独自の連携動作サービスを提供でき、この結果元のコンテンツそのものの視聴数を増大し、ユーザ自身もコンテンツに関連した多様なサービスを享受でき、コンテンツ流通関連ビジネスの活性化を促進でき、大きな経済的効果をもたらすことができる。
ることを要旨とする。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
更に、請求項１４記載の本発明のプログラムは、請求項９または１３記載のコンテンツ連携再生方法をコンテンツ連携再生装置に実行させることを要旨とする。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
請求項１５記載の本発明のコンピュータ読取り可能な記録媒体は、請求項１４記載のプログラムを記録したことを要旨とする。
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３２】
請求項１５記載の本発明のコンピュータ読取り可能な記録媒体にあっては、請求項１４記載のプログラムを記録しているため、該記録媒体を用いて、その流通性を高めることができる。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
更に、コンテンツ再生装置２１は、上述したように、蓄積装置４１１から取得したコンテンツの再生タイミング、コンテンツデータおよびメタデータを含み、コンテンツに対して連携動作を行うために必要な情報を定義した連携インタフェース情報を生成して出力する連携インタフェース情報生成手段を構成する連携インタフェース情報出力手段２１３を有することに加えて、コンテンツを再生するコンテンツ再生手段２１１、このコンテンツ再生手段２１１で再生されるコンテンツを表示するコンテンツ表示ウィンドウ２１５、メタデータを再生するメタデータ再生手段２１２、このメタデータ再生手段２１２で再生されるメタデータを表示するメタデータ表示ウィンドウ２１６を有する。

【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６５】
また、本実施形態のコンテンツ連携再生システム１１においては、予めオブジェクトの５Ｗ１Ｈ情報に対応した連携データを格納し、再生インタフェース情報として再生タイミング情報のみを出力し、連携データと外部入力情報とに基づく連携動作を行うようにすることも可能である。このように再生タイミング情報のみを出力する場合において、予め格納された連携データをコンテンツとみなし、更にこの連携データであるコンテンツに対し、連携インタフェース情報の出力とさらなる連携データと外部入力情報とに基づく連携動作を行ったり、あるいは、その連携データであるコンテンツを更に連携データとして格納し、この処置を繰り返すようにすることも可能である。
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１９】
本発明によれば、連携データとして広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、コンテンツに関連する情報コンテンツ、コンテンツに関連するクイズ情報、およびコンテンツに関連するゲーム情報のうちの少なくとも１つの情報を取得し、この少なくとも１つの情報に関連する連携動作の実行を制御し、該連携動作に対する対価またはその一部を少なくとも１つの該情報および連携動作またはその動作結果に基づき少なくとも１つの該情報の提供者に請求するので、連携動作により広告コンテンツ、コンテンツに関連するサービス情報コンテンツ、情報コンテンツ、クイズ情報、ゲーム情報などを提供された時には場合により情報の提供者に対価が請求され、ユーザは例えば無料で種々の情報を取得することができる。